

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.10 No.234

今月のトピック

●特集 P.2-7

災害ボランティアコーディネーター養成
スキルアップ講座が一新！

～せたがや災害ボランティアセンターの取り組み～

●イラストレーター ルリ・マグネット
「朽ちるまえに焼きつけて」を
テーマにプリザーブドフラ
ワールのあじさいを一枚一枚手
でちぎり貼り絵などを制作し
ています。
Instagramで「ルリ・マグ
ネット」と検索してください。

●わたしの世田谷

世田谷は活気のある街で、歩くと毎日うれしい発見があります。公園で、お花や緑を眺めたり、お気に入りのカフェでステキなひとときを過ごすのがとても好きです。



災害ボランティアコーディネーター養成スキルアップ講座が一新！ くせたがや災害ボランティアセンターの取り組み



秋田市での災害ボランティア活動

■ 関東大震災から100年の節目の年

今年（1923年（大正12年））に発災した関東大震災から、100年の節目を迎えました。発災した9月1日は「防災の日」となり、さらに9月は「防災月間」とされています。例年この時期には、関係機関やマスコミなどによって、関東大震災の甚大な被害の様子や国民の混乱ぶりが報道され、災害への備えが強く呼びかけられました。

また、全国各地で防災訓練などが行われます。世田谷区でも多くの地区で避難所運営訓練や防災訓練などが実施されますので、せたがや災害ボランティアセンターは日常的な活動の一環として区内の訓練に職員を派遣して、災害ボランティア活動についての啓発に努めています。

■ 災害ボランティア

コーディネーターについて

大規模災害が発生すると、被災した市区町村では社会福祉協議会が中心となって災害ボランティアセンターを立ち上げて運営を開始する例が一般的です。災害ボランティアセンターの活動を担うのはコーディネーターなのですが、最近はそのコーディネーターが不足しているために災害ボランティアセンターの活動が低調になりがちだと言われています。

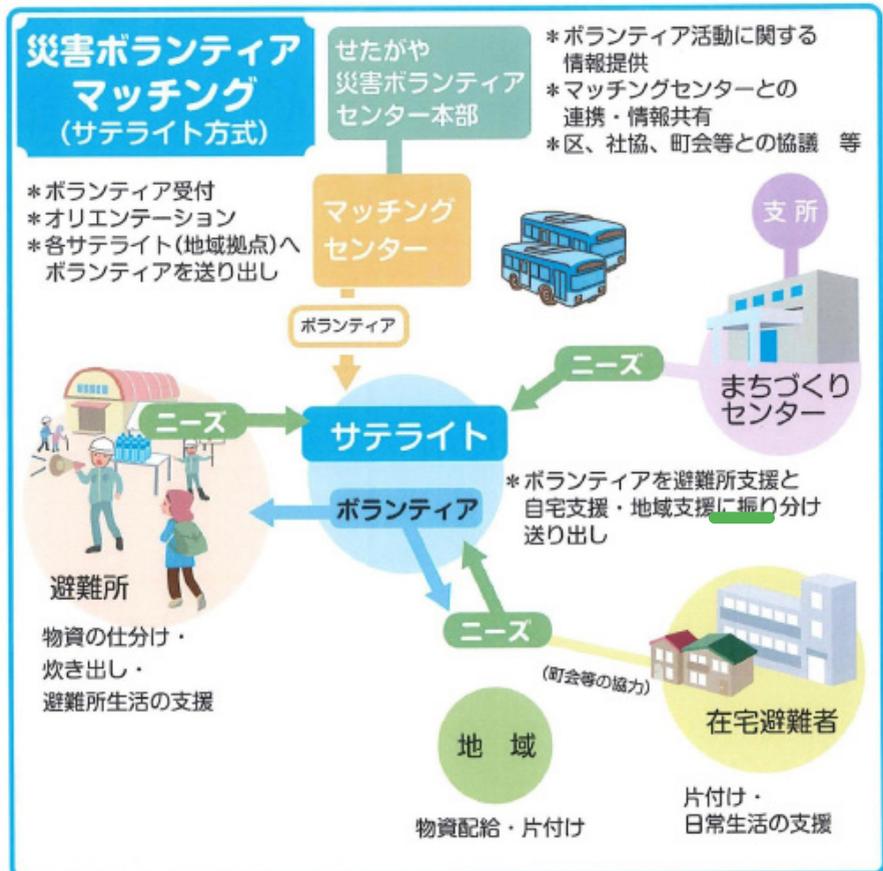
特にコロナ禍が続いた期間中はボランティアの導入も制限されていたため、東日本大震災以降盛り上がりを見せていた災害ボランティア活動がいつの間にか下火になり、それとともにますますコーディネーター不足が指摘されるようになってきたように感じます。

常設の「せたがや災害ボランティアセンター」の務め

世田谷区では、世田谷ボランティア協会の中に、災害ボランティアセンターが常設されて、平時から、災害時のボランティア活動を想定した取り組みを続けています。

せたがや災害ボランティアセンターでは、区内に「マッチングセンター」と「サテライト」という災害ボランティア活動の拠点を多数配置する「世田谷方式」という独自の仕組みを作っています。大災害が発生したときに、この仕組みを機能させるには、かなりの人数のコーディネーターが必要となるでしょう。

したがって、常設の災害ボランティアセンターとしての最重要の務めは、コーディネーターの養成活動であると言っても過言ではありません。



コーディネーターの登録と
養成講座による研修

せたがや災害ボランティアセンターが行う養成講座基礎編を受講して、コーディネーターとして登録された方は、現在約900名で



スキルアップ講座

す。

コーディネーターのおもな役割は、マッチングセンターではボランティアの受入れとサテライトへの割振り、サテライトでは①マッチングセンターから来るボランティアを受け入れ②被災された方からのニーズを聞き取って整理し③ボランティアとニーズのマッチングをし、④ボランティアの活動をさまざまな形で支援することです。

このような役割を果たすには、養成講座基礎編を受けたうえで、さまざまな活動内容についての研修を積んでいただくこととなります。

コーディネーターの
スキルアップ講座

コーディネーターの具体的な活動内容に対応した研修の機会として、世田谷災害ボランティアセンターは「スキルアップ講座」を実



秋田市ボラバス活動へ向かう準備

施しています。しかも、今年度からは講座内容を体系化して連続講座としてのカリキュラムを組みました。全体では12回にわたる講座となる予定です。

第1回は「コーディネーターの役割とその大切さ」を知る講座で、コーディネーターの役割や私たちが目指すコーディネーションにつ

スキルアップ講座一覧（予定）

- 第1回 コーディネーターの役割とその大切さ
 - 第2回 マッチングセンター・サテライトの開設手順
 - 第3回 ニーズヒアリングと作業内容の決定
 - 第4回 マッチング方法
 - 第5回 ボランティアの健康と安全
 - 第6回 一日の活動集計と翌日の準備
- ※内容が変更になる場合があります。

いて学びました。グループワークでは、その日の講座を受けて知ったことや、気づいたことについての意見交換し、コーディネーターとしての役割や、思いを語り合いました。

第2回は「マッチングセンター・サテライトの開設手順」についての講座で、マッチングセンターや

サテライトを開設するまでの具体的な手順を確認しました。グループワークでは、サテライトの事務スペース及びボランティアのためのスペースにどういった掲示（案内）が必要になるのか意見を出し合いました。

今年度中に第6回まで開催を予定しており、来年度は第7回以降と第1回からの再講座を開催いたします。途中からでも、ご自身の都合のつく講座を受講していただくことができます。

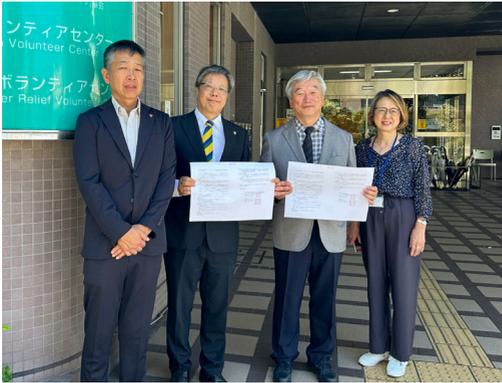
秋田市へのボランティアバス派遣

せたがや災害ボランティアセンターでは、被災地域に向けてボランティアバスの運行なども行っています。一般の災害ボランティア参加者に加えて、災害ボランティアコーディネーターの方々にも被災地の状況を知る機会としても積極的に参加いただくように呼び掛けています。



秋田市ボラバスでの活動

8月18日～20日には、秋田市内の水害被災地域に30名の参加者によるボランティアバスを派遣しました。参加されたコーディネーターの方々からは「被災地でボランティア活動を体験でき、災害ボランティアセンターの運営などを見ることもできて参考になった」「大変多くの学びがあり、今後よりいっそうボランティア活動につ



東京世田谷ライオンズとの協定式

災害ボランティアセンターを
支援する力

いて勉強しないといけないなど思
いました」などの声をいただきま
した。今後も積極的に被災地域に
ボランティアバスを運行して行く
予定です。

昨年の三軒茶屋ライオンズクラ
ブ様に続き、2023年9月1日

災害に備えて

これからもさまざまな団体から
のご協力を得ていきたいと考えて
います。

関東大震災のようなM8クラス
の地震は200年〜300年周期
と言われていますが、M7クラス
の地震は70〜80年周期といわれる
中、関東大震災以降、100年もの
あいだ首都圏では大地震が来て
いません。

「いつかくる・・・」ではなく、

今起きてもおかしくない大地震に
備えて、せたがや災害ボランティ
アセンターでは、仲間（コーディネ
ーター）を一人でも増やし、多
くの団体や企業と連携を強化して
まいります。

災害ボランティアコーディネーター

せたがや災害
ボランティアセンター

養成講座 基礎編

2023
10/7 土

日本大学商学部

事前申込制(先着50名)

共催：社会福祉法人世田谷ボランティア協会、世田谷区、日本大学商学部

詳細は 10 ページをご覧ください

せたがや災害ボランティアセンター 講師派遣いたします

「せたがや災害ボランティアセンター」では、防災や災害時のボランティアによる支援活動に関する講師として、せたがや災害ボランティアセンターの職員を派遣しています。

防災塾、小中学校・高校・大学での授業、町会・自治会、マンション・集合住宅、企業、少人数のグループなどで講話の実績があります。

講話の内容は、防災に関すること、災害時のボランティアに関することなど、ご希望に沿って広範囲に対応いたします。人数、時間、場所などで相談に応じますので、是非ご連絡ください。

【お問い合わせ】

TEL : 03-5712-5101 e-mail : saigai-info@otagaisama.or.jp



ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランテア協会では、ボランテアの力を必要としている方と、ボランテアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランテア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランテアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法があるか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランテアセンター
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランテアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランテア求む

小 フリースクールのボランテアさんを募集しています

主に「不登校的」に暮らしている子ども・保護者を支援して、1994年から活動を続けています。無理ない範囲で、できれば継続的・定期的に関わって下さる方を求めています。

基礎学習・ものづくり(絵画・手芸・工作・書道など)・料理(お昼づくり・お菓子など)・ゲーティング・スポーツ・散歩・おしゃべり・科学実験・音楽(唄・楽器など)・パソコンなど、あらゆる事の中で、できる部分でお付き合い下さい。おでかけ・合宿・キャンプ

●場所／フリーイベントなどへのお手伝いだけでも結構です。時間外の事務仕事だけのお手伝いも大歓迎です。まずは、電話かメールでお問い合わせください！
日時／月・火・木・金10～17時
水12～17時

●場所／フリースクール僕んち(代田4・32・17サンハイツB)
●問合せ／NPO法人フリースクール僕んち 担当 タカハシ
TEL 3327・7142
090・3905・8124
fbtoru@yahoo.co.jp

京 視覚障害者の健康体操をサポートして下さる方を募集しています

視覚障害者の方を対象とした健康体操を行っているグループの活動の準備や片付け、近くの駅やバス停までのサポートをして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／月1回(第2月曜日)
13時半～16時

●場所／主に烏山区民センター
●交通／千歳烏山駅
●条件／視覚に障害がある方と関わった経験がある方
●問合せ／烏山ボランテアビューロー
TEL 6909・0333
karasubora@otagaisama.or.jp

小

難病20代男性の外出行き添いボランティア求む

ハンチントン病の20代男性が、外出に付き添ってくれる男性ボランティアを求めています。病気の影響で体幹が弱いですが、手をとって歩いてもらえば、安心して外出ができます。行先は、ブラインドサッカーの練習会場。得意なサッカーを活かして、週末にブラインドサッカーチームでアドバイザーをしています。練習会場の行き帰りの付き添いをお願いしたいです。まずはお問合せください。

●日時／練習（土曜または日曜）2～3時間＋往復1～2時間程度月2～3回（頻度は応相談）

●場所／自宅（桜丘）と練習会場（日替わり）の往復

●交通／千歳船橋駅徒歩3分

●条件／男性（同年代希望）、交通費実費支給

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口

TEL 5712・5101

haraguchi@otagaisama.or.jp

京小

高齢女性の歩行付き添いボランティア募集

上祖師谷の高齢者施設に通う女性（歩行器使用）が、最寄りのバス停まで付き添ってくれるボランティアを求めています。バス停まではゆっくり歩いて10分ほどです。バスに乗りこむ時のサポートもお願いしたいです。近くにお住まいの方、毎週でなくても構いませんのでぜひお手伝いください。（施設にて、せたがやシニアボランティアのポイントが受け取れます）

●日時／毎週水曜日12時半（デイ

サービス終了）～13時ごろ（12時50分のバスに乗ります）

●場所／語らいの家（上祖師谷6・7・23）から駒大グラウンド前バス停まで

●条件／徒歩や自転車でも来られる方希望

●問合せ／烏山ボランティアビューロー

TEL 6009・0000

karasubora@otagaisama.or.jp

東

一緒に勉強してくれるボランティアを募集中

等々力にある児童福祉施設で小学生から高校生までの子どもたちに寄り添ってくれるお兄さん・お姉さんを募集しています。小学生には主に宿題の見守り、中学生には話し相手としても関わっていただけるとうれしいです。学習支援の経験がなくてもまずは気軽にご連絡ください。

●日時／月々金曜日の18時～20時（週1回、1回1時間でも可）

ご相談ください）

●場所／児童福祉施設内の学習室

●条件／学生。ボランティア保険加入（費用は事業所負担）、交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabora@otagaisama.or.jp

有償スタッフ募集

東 80代男性の見守りをお願いします

車いす生活の81歳の男性（桜新町在住）が、奥様が留守の時に一緒にいてトイレ介助をしてくれる方を求めています。寡黙ですが元氣な方です。将棋をしてくれる男性の応募をお待ちしています。

●日時／月1回

●場所／桜新町2丁目自宅

●交通／桜新町駅より徒歩1分

●条件／60～80代前半の男性、1000円/時の支給あり（区の緊急介護人制度を利用）

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabora@otagaisama.or.jp

講座・その他・募集

小 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @日本大学商学部

2023年度3回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を日本大学商学部にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策・災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／10月7日（土） 13時30分～16時30分※13時より受付開始
●会場／日本大学商学部1号館（5F・21）

小 東 せたがや福祉区民学会第15回大会

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、区内大学を会場に、区内8大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、事例発表を通して実践活動・研究を深めあっています。

令和5年度第15回大会は「学びあひ 広げよう せたがや福祉の輪『生きる』を支え未来につなぐ」をテーマに、基調講演や「子ども・若者が輝くまち世田谷」や「地域をつなぐネットワーク」など7テーマの事例発表、その他ワークショップや福祉用具展示や炎

害時にも役立つ介護食の展示などを開催します。詳細はホームページをご覧ください。

●日時／11月11日（土）12時～17時半
●場所／東京農業大学世田谷キャンパス1号館2階（講義棟）
●交通／バス農大前下車徒歩3分
●条件／資料代500円
●問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村木
TEL 6379・4280
fukushijinzaikai@setagaya-jinzai.jp
https://www.setagaya-jinzai.jp/

●交通／祖師ヶ谷大蔵駅徒歩12分
●参加費／無料
●申込／10月6日（金）正午までに、せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォームまたはメールか電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
sagai-info@otagakama.or.jp

小 秋の北沢ヒューローバザー&バザーボランティア募集

昨年、梅丘と代田が統合し、4月には梅丘ボランティアビューローから北沢ボランティアビューローと名称を変更しました。北沢ボランティアビューローとしての初めてのバザーです。この場所でのバザーは2年ぶり。地域のみならずから提供していただいた品物をより多くの人でユースしていただければと思います。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

●日時／11月11日（土） 10時半～15時半
●場所／北沢ボランティアビューロー1階
●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

雑貨、食器、かばん・靴（新品及びそれに近いもの）
※荷受け不可能な物／電化製品、家具、背広、食品、人形、ぬいぐるみ・おもちゃ

●バザーボランティア募集／
（A）値付けなどの準備ボランティア（11月6日～10日）
（B）チラシを広報板に貼る作業（11月2日頃）
（C）当日運営（11月11日）
（D）片付け（11月13日午前）
手伝ってくださいるボランティアさんを募集します。時間等詳細はお問合せください。

●問合せ／北沢ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
kibator@otagakama.or.jp

東 子どもに寄り添うボランティア講座 (学習サポート編 全3回)

世田谷ボランティア協会には、日頃より子どもへの学習支援を求める相談が寄せられています。例えば、学習のつまづきがあるけれども勉強したい、大勢の中は苦手だけれど個別なら安心、そばで励ましてくれる人がいるとやる気になる、自分のペースでゆっくり勉強したいなど。

この講座では、お子さんと一緒に学びの喜びを分かち合う時間を共有するボランティアの養成をめざします。一からやさしく学べる講座です。

●日時／11月2日(木)、11月16日(木)、11月30日(木) 全回
13時半～16時半

●講師／尾崎ミオ氏(NPO法人)

小 もっと語ろう不登校

これまで29年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お話し合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／10月7日(土) 14時～

●場所／人の泉・オーブンスペー

●東京都自閉症協会(副理事長) 他

●会場／玉川ボランティアビュー

●交通／二子玉川駅徒歩5分

●参加費／700円(資料代、全3回分)

●申込／10月15日(日)より、電話またはFAXまたはメールにて(件名は「子どもボラ講座申込」)

●①氏名、②住所、③連絡先、④年齢(○代)、⑤何を

見てを記載

※電話受付は10月16日より

●問合せ／玉川ボランティアビ

ー

TEL 3707・3528

FAX 3707・3058

tanabara@otagaisama.or.jp

Part 282

スロ(赤堤1・15・13)

またはZOOM会議

●交通／豪徳寺駅徒歩8分

●条件／事前申し込み制

●問合せ／世田谷こどもいのちの

ネットワーク第3分科会「もっ

と語ろう不登校」担当 佐藤

090・9248・1355

tsbtoru@yahoo.co.jp

Aシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAシステムによるマッチングサイト(世田谷版GBER「ジーバー」)で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記二次元コードからご覧ください。



東 世田谷ボランティアセンター大規模改修のお知らせ

世田谷ボランティアセンターは、8月1日～12月末まで大規模改修を行います。その間、会議室・印刷室などの利用ができなくなります。利用再開は2024年1月5日(金)の予定です。会議室利用予約は11月1日(水)から受付開始します。期間中、センター窓口受付対応については以下の時間帯で対応いたします。

火～金 9時～21時
土・日 9時～17時

※事前連絡の上お越しください。

●物品の貸し出し

車いす、白杖の2点です。その他物品の貸し出しは早めにご相談ください。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にともなう「困った!」を話せる場所●

- 地域障害者相談支援センター ほーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ほーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

子どもに寄り添うボランティア講座を11月2日より(受付は10月15日から)、北沢ボランティアビューローとして初めてのバザーを11月11日(土)に開催します! 詳しくP.10-11 をご確認ください。

◆ふらっと& with より

暑さにひたすら耐え忍んだこの数か月……。待ちに待った秋がそこまで来ています。年々、短くなっている秋ですから、出かける準備をしましょう!

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

10月8日(日)開催の「雑居まつり」に出店します! 私たちの活動の紹介のほか、ボランティアさん手作り品を販売します。ぜひお越しください。

編集後記

■今年の夏は本当に暑く、天気も目まぐるしく変わり、線状降水帯という言葉もいつも以上に多く聞いた気がします。私自身も、突然のゲリラ豪雨に見舞われ、あと数十mで家に着くのに、あまりにも激しい雨と風で移動ができなくなり、「恐ろしいな」と思いながら、安全な場所に避難して天気が回復するのを待ちました。まだ台風の季節なので、油断はできません。改めて防災グッズや避難場所の確認をしておこうと思います。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

